

15. 興道寺遺跡

所在地：三方郡美浜町興道寺
調査原因：内容確認
調査期間：平成 30 年 1 月 31 日～3 月 23 日
調査主体：美浜町教育委員会
調査面積：45 m²
時代：古墳時代後期



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要 今回の調査地は興道寺廃寺北方の寺域外にあたります。広域農道を挟んでさらに北側、小字狐塚の河岸段丘崖の付近で調査を行いました。

遺構 表土直下の極めて浅いところから段丘の地山と緩やかな孤状となる幅 2.0mほどの溝 1 条を検出しました。溝は極めて浅く、埋土から 6 世紀前半の須恵器片が出土しました。この溝の下層は黄色土と黒色土を細かく互層に積み重ねており、今回の調査で新たに確認された円墳の北側の周溝の一部にあたり、古墳の墳丘裾部と周溝が一体のものとして造られていることがわかりました。墳丘土や石室は既に失われています。

地山面からは近代の水溜めや柱穴列なども検出されましたが、古老の伝えによると大正時代には馬の市があったということです。

まとめ 『耳村誌』によれば明治 44 年に付近から鉄剣が出土したことや、調査地のすぐ北側に見られる半円状の地割のあり方などから考えて、径 20m 前後の円墳 1 基が存在したことが明らかとなりました。(松葉竜司)



写真 1 調査地全景 (南西から)



写真 2 円墳北側の周溝の一部 (北から)



写真 3 周溝の土層断面